

第 25 回 食と農と環境を考える世界学生サミット (International Students Summit :ISS)

2026 年 6 月 30 日～7 月 3 日

Pushing Boundaries: Inclusive Activities for Community Welfare

テーマ:地域活性化のその先へー境界を越えた社会的共生ー



主催

東京農業大学(Tokyo NODAI)

2026 TOKYO

東京農業大学 第25回 食と農と環境を考える 世界学生サミット (ISS)

Theme

地域活性化のその先へ ~境界を越えた社会的共生~

2026年6月30日~7月3日

世田谷キャンパス 国際センター2階複本ホール

日程

6月30日(火) 9:00-12:00
開会式
7月1日(水) 9:00-16:10
セッション別発表会
7月2日(木) 9:00-14:30
セッション別発表会
7月3日(金) 10:40-12:10
総合討論
7月3日(金) 15:00-16:00
閉会式

ライブ
配信あり



ISSとは?

使用言語：英語

食と農と環境を感じる国際学生サミット (ISS) は、世界各国・地域の本学協定校代表学生と本学学生が、食・農・環境の諸課題について議論を交わす学生主体の国際会議である。参加者は共に深刻な課題に取り組み、学生ならではの具体的なアクションや成果を共有する。



23カ国・地域



26大学



発表者 27名
(うち、東京農大より2名)



座長 14名
(全員農大生)

ISS 公式ホームページ

<https://www.isstokyonodai.net>



開会式プログラム

9:00~ 開会挨拶

- 東京農業大学 学長
江口文陽 教授
- フィリピン大学ロスバニオス校 学長
ホセ Jr. カマチョ 教授
- 東京農業大学グローバル連携センター長
宮浦理恵 教授

9:40~ 基調講演

- フランス ISARA 研究部長
アレクサンダー・ヴェーゼル 教授

10:40~ 第25回ISS記念式典

- 東京農業大学ISS/ISF アドバイザー 及びISS OG
下口 ニナ 教授

11:40~ 閉会挨拶

- 東京農業大学 副学長
三原 真智人 教授

基調講演者

アレクサンダー・ヴェーゼル 教授
(フランス ISARA 研究部長)



アレクサンダー・ヴェーゼル教授 (Prof. Dr. Alexander WEZEL) は、アグロエコロジー (農生態学) 分野における世界的なリーダーである。20年以上にわたり、「科学」「実践」「社会的運動」を連携させた学問領域の発展を牽引し、EUの政策の学術的基盤にアグロエコロジーを据えてきた。現在はフランスのISARAの教授として、ヨーロッパ内外におけるアグロエコロジーへの移行 (トランジション) を推進する最前線に立ち続けている。今回が初の来日となり、次世代を担う若者たちに向けて未来へのビジョンを語る。

基調講演

【テーマ】加速するアグロエコロジー：
農と食の持続可能な未来へ向けた変革への道筋

現在の食料・農業システムは、ますます深刻化する多くの課題に直面している。従来のシステムがこれまでの機能を果たせなくなっている今、代替となる新たな道筋が必要になっている。その鍵となる解決策として浮上しているのが「アグロエコロジー (農生態学)」である。数十年前から提唱されてきたこのアプローチは、現在、世界的な規模で大きな機運を迎えている。

本講演では、アグロエコロジーが科学、実践、そして社会的運動の各次元においてどのように進化してきたか、その歴史的視点を提供するとともに、現代におけるグローバルな広がりや浮き彫りにする。さらに、農業の生産性、社会経済構造、食料安全保障そして地域社会のウェルビーイング (豊かな暮らし) に与える影響を評価する。世界各地のケーススタディを通じて、真に持続可能な食料システムへの不可欠な移行 (トランジション) を、アグロエコロジーがどのように牽引できるかについて議論を展開する。



主催：東京農業大学 (東京農大)

問い合わせ：グローバル連携センター (CGI)

Email: isf@nodai.ac.jp

第 25 回 ISS 全体スケジュール

会場:国際センター2階 榎本ホール

| 日付 | 時間 | 内容 |
|----------|-------------|----------------|
| 6月30日(火) | 9:00~10:30 | 開会式・基調講演 |
| | 10:40~12:00 | 第25回ISS記念セッション |
| 7月1日(水) | 9:00~16:10 | 発表セッション(4グループ) |
| 7月2日(木) | 9:00~14:30 | 発表セッション(3グループ) |
| 7月3日(金) | 10:40~12:10 | 総合討論 |
| | 15:00~16:00 | 閉会式 |

6月30日(火) 1日目

開会式

| 時間 | 内容 | 詳細 |
|-------------|--------------------|-----------------------------------------------------|
| 9:00~9:10 | 開会挨拶 | 東京農業大学 学長 江口 文陽 教授 |
| 9:10~9:15 | 第26回ISSに向けた挨拶 | フィリピン大学ロスバニオス校 学長 Jose V. CAMACHO, Jr. 教授 |
| 9:15~9:30 | アドバイザーと卒業生からのメッセージ | ISS 録画ビデオ |
| 9:30~9:40 | ISSアドバイザー委員会からの挨拶 | ISS国際アドバイザー委員会委員長 東京農業大学グローバル連携センター長 宮浦 理恵 教授 |
| 9:40~10:30 | 基調講演 | ローヌ・アルプス農業栄養高等学院 (ISARA) 研究部長 Alexander WEZEL 教授 |
| 10:30~10:40 | 休憩 | |
| 10:40~11:40 | ISS卒業生からのメッセージ | ISS/ISFアドバイザー、ISS元参加者 東京農業大学 アグリビジネス学科 下口 ニナ 教授 |
| 11:50~12:00 | 閉会挨拶 | 東京農業大学 副学長 三原 真智人 教授 |

基調講演

6月30日(火) 9:40~10:30

加速するアグロエコロジー:

農と食の持続可能な未来へ向けた変革への道筋

フランス / ローヌ・アルプス農業栄養高等学院 (ISARA)

研究部長 アレクサンダー・ヴェーゼル 教授



アレクサンダー・ヴェーゼル教授(Prof. Dr. Alexander WEZEL)は、アグロエコロジー(農生態学)分野における世界的なリーダーである。20年以上にわたり、「科学」「実践」「社会的運動」を連携させた学問領域の発展を牽引し、EUの政策の学術的基盤にアグロエコロジーを据えてきた。現在はフランスのISARAの教授として、ヨーロッパ内外におけるアグロエコロジーへの移行(トランジション)を推進する最前線に立ち続けている。今回が初の来日となり、次世代を担う若者たちに向けて未来へのビジョンを語る。

現在の食料・農業システムは、ますます深刻化する多くの課題に直面している。従来のシステムがこれまでの機能を果たせなくなっている今、代替となる新たな道筋が必要になっている。その鍵となる解決策として浮上しているのが「アグロエコロジー(農生態学)」である。数十年前から提唱されてきたこのアプローチは、現在、世界的な規模で大きな機運を迎えている。

本講演では、アグロエコロジーが科学、実践、そして社会的運動の各次元においてどのように進化してきたか、その歴史的視点を提供するとともに、現代におけるグローバルな広がりを浮き彫りにする。さらに、農業の生産性、社会経済構造、食料安全保障そして地域社会のウェルビーイング(豊かな暮らし)に与える影響を評価する。世界各地のケーススタディを通じて、真に持続可能な食料システムへの不可欠な移行(トランジション)を、アグロエコロジーがどのように牽引できるかについて議論を展開する。

7月1日(水)~7月2日(木) 2~3日目: グループディスカッション・ワークショップ

総合座長 柳生 健太郎 国際農業開発学科3年 / Aya Osman IDLEH 国際農業開発学専攻 博士前期課程2年

■ Group A 7月1日(水) 9:00~10:30

座長: 柳生 健太郎 国際農業開発学科3年 / Aya Osman IDLEH 国際農業開発学専攻 博士前期課程2年

| 発表タイトル | 発表者・所属 |
|-------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 低コスト携帯型土壌水分測定センサーによる農家および市民サイエンティストの水管理の時空間的最適化 | Siddhesh S. Mane ミシガン州立大学 (アメリカ) |
| 農業を人々の近くへ: Vivid Earth Network における私たちの歩み | 佐藤 杏泉 東京農業大学 アグリビジネス学科3年 |
| ミャンマーにおける食料価格変動下での世帯の食料消費行動、レジリエンス、認識に関する地域福祉評価 | Hlaing Thin Thin Myat イエジン農科大学 (ミャンマー) |
| 台湾の水資源競合下における圃場維持と温室効果ガス削減のための水稻点滴灌漑システムに関する研究 | Nuo-Ya Lou 国立屏東科学技術大学 (台湾) |

■ Group B 7月1日(水) 10:40~12:10

座長: Njiva RANDRIAMALALA 生産環境工学科3年 / 鈴木 七菜 栄養科学科4年

| 発表タイトル | 発表者・所属 |
|-----------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 包摂的コンピューターラボ | Mariia Bondarenko ウクライナ国立生命環境科学大学 |
| グリーンキャラクター教育を通じた環境サステナビリティ: 困難を抱える子どもたちにおける思いやりと生態学的責任の育成 | Niko Faiz Faharezi IPB 大学 (インドネシア) |
| 水没および塩害ストレスへの複合耐性を持つ水稻優良育種系統の苗期評価 | Sukritta Somthong コンケン大学 (タイ) |
| すべての人に安全な食を: 地域福祉とより健康な未来のための残渣のない有機・自然農法 | Kamal ハリヤナ農業大学 (インド) |

■ Group C 7月1日(水) 13:00~14:30

座長: Dewi ERNAWATI 国際アグリビジネス学専攻 博士前期課程2年 / 澤井 優希 生物資源開発学科4年

| 発表タイトル | 発表者・所属 |
|---------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 小規模生産者の牛乳の微生物学的分析: 栄養価の高い食品へのアクセス拡大に向けた包摂的活動 | Gabriela Capalari De Proença サンパウロ大学 (ブラジル) |
| 収穫前発芽抵抗性に向けた若者主導の遺伝子マッピング: ベトナム中部における気候レジリエントな水稻システムの構築 | Diep Bich Tran ベトナム国立農業大学 |
| 資源回収に向けた建設材料としてのバナナ果皮およびバナナ房の潜在的利用 | Martin Henry Kawogo ソコネ農業大学 (タンザニア) |
| 大学から地域へ: 実践的ワークショップを通じた食品科学・技術 | Kalsom Aliah binti Abdul Hadi マレーシアプトラ大学 |

■ **Group D 7月1日(水) 14:40~16:10**

座長: Job Nyarimba OMBIRO 国際農業開発学専攻 博士前期課程2年 / Phyoe Su Su KYAW 国際農業開発学専攻 博士後期課程1年

| 発表タイトル | 発表者・所属 |
|------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 現場からの声:ストーリーテリングと農家可視化キットを通じた小規模野菜農家の市場可視性の強化 | Marcela Lye O. Jamora フィリピン大学ロスバニオス校 |
| ジブチ沿岸海洋生物におけるマイクロプラスチック汚染:食料安全保障、公衆衛生、地域福祉への示唆 | Nawal Mohamed Adan ジブチ大学(ジブチ) |
| 野菜生産における温室効果ガス排出削減のためのバイオ炭施用:圃場試験と農家の視点 | Wei-en Lee 国立中興大学(台湾) |

■ **Group E 7月2日(木) 9:00~10:30**

座長: Toky MAMINANDRASANA 国際アグリビジネス学専攻 博士前期課程1年 / 山本 真結 食料環境経済学科4年

| 発表タイトル | 発表者・所属 |
|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 東日本大震災後の福島県浪江町における地域再生の取り組み | 滑川 彩実 東京農業大学 農芸化学科2年 |
| 革新的な取り組みを通じた農業関連の社会開発に向けた学生の可能性の促進、危機下の地域支援、農家の生計向上 | Khalid Hasan バングラデシュ農業大学 |
| 導入ギャップを埋める:アグロエコロジーへの転換に向けた農家の意思決定に影響する要因の理解 | Faith Mutheu Musembi ユニラサール・ポリテクニク学院(フランス) |
| 地域福祉の境界を越えて:包摂的なフードシステムとジェンダー正義に向けた若者主導の参加型ツール | Manyu Liu レディング大学(イギリス) |

■ **Group F 7月2日(木) 10:40~12:10**

座長: Glenn Ameni ANSAH 国際食農科学専攻 博士前期課程1年 / 林 杏朱 アグリビジネス学科3年

| 発表タイトル | 発表者・所属 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 参加型教育を通じたグローバル・サステナビリティ対話:SDG セミナーとシンポジウム | Judith Epele カリフォルニア大学デビス校(アメリカ) |
| 共生から学ぶ:タイにおける東部オオヅル再導入に着想を得た若者主導の体験型保全モデル | Bhasyn Saraporn カセサート大学(タイ) |
| ケール(<i>Brassica oleracea</i> var. <i>acephala</i>)生産のための持続可能な土壌混合材への農業廃棄物転換:学生主導の取り組み | Vanchoeuy Heng 王立農業大学(カンボジア) |
| ケニア・ニヤンダルア郡高地におけるジャガイモ(<i>Solanum tuberosum</i> L.)の土壌型、養分吸収、および収量・栄養品質への影響評価 | Ann Wangari Muthui ジョモケニヤッタ農工大学(ケニア) |

■ **Group G 7月2日(木) 13:00~14:30**

座長: Hunter Bundusi OGOCHI 農業工学専攻 博士前期課程1年 / Yun Ling CHANG

| 発表タイトル | 発表者・所属 |
|-------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 希望のための組織化:学生の気候正義アクティビズムを通じて気候感情を集团的行動へ転換する | Savini Goel ブリティッシュコロンビア大学(カナダ) |
| 農業におけるMRVの改善:羊の腸内メタンおよびCH ₄ 換算係数の正確な算定 | Saruulhorov Tuvshintugs モンゴル生命科学大学 |
| Agri-Connect Lanka:包摂的な地域開発のために未利用農業資源を動員する学生主導のデジタル・エコシステム | S.H. Isuri Methhari Rodrigo パラデニア大学(スリランカ) |
| ごみ分別を促進するゲーミフィケーション:タート・ルアン祭におけるボランティア活動の事例研究 | Khemphet Chanbouathong ラオス国立大学 |

7月3日(金) 4日目

午前：総合討論セッション

| 時間 | 内容 | 詳細 |
|-------------|---------------|----------------------|
| 10:40~10:50 | 開会挨拶／グループ代表紹介 | 司会：総合座長 |
| 10:50~11:00 | グループ結論 | 各グループ議長／司会：全総合座長 |
| 11:00~11:20 | グループ提言 | 各グループ発表者(代表)／司会：総合座長 |
| 11:20~11:40 | パネルディスカッション | 全ISS参加者／司会：総合座長 |
| 11:40~11:45 | 次回ISSメインテーマ発表 | 司会：総合座長 |
| 11:45~12:05 | 総合討論 | 司会：総合座長 |
| 12:05~12:10 | 閉会挨拶 | 司会：総合座長 |

午後：閉会式

| 時間 | 内容 | 詳細 |
|-------------|---------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 15:00~15:05 | 挨拶 | 東京農業大学グローバル連携センター長 宮浦 理恵 教授 |
| 15:05~15:20 | 修了証授与 | 東京農業大学グローバル連携センター副センター長 遠藤 明仁 教授 |
| 15:20~15:30 | ISS表彰 | ISS国際アドバイザー委員会委員 下口 ニナ 教授 |
| 15:30~15:40 | 代表者からの一言（協定校アドバイザー） | ローヌ・アルプス農業栄養高等学院 Alexander WEZEL 教授 IPB 大学 Siti JAHROH 准教授 他 |
| 15:40~15:45 | 挨拶 | ISS 総合座長 |
| 15:45~15:50 | 閉会挨拶 | フィリピン大学ロスバニオス校 副学長 Haerold Dean Z. LAYAOEN 准教授 |
| 15:50~16:00 | 閉会挨拶 | 東京農業大学 副学長 三原 真智人 教授 |

すべてのセッションは Microsoft Teams にてライブ配信 されます。

また、録画映像は ISS 公式 YouTube チャンネルで後日公開 されます。

Teams での視聴はこちら：

<https://tinyurl.com/TokyoNODAI-ISS-2026>

または、下記の QR コードからご参加ください。

